

『笑顔で元気なまち福江』を実現する市民館

田原市福江市民館

公民館の沿革・年表

- 平成17年（2005）渥美町が田原市に編入合併
福江市民館設置
- 平成21年（2009）福江町中紺屋瀬古に現市民館建設
- 平成28年（2016）福江公園完成

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

「福江市民館 親子よみかせ会」
 講師：おはなし手のひらの会・福江小学校文化委員
 対象：福江保育園園児・福江小学校児童とその保護者
 毎年、親子で過ごす時間や共通の話題を増やすことを目的に読み聞かせ会を行っている。平成25年までは地域の読み聞かせボランティア『おはなし手のひらの会』に依頼してきたが、平成26年からは小學生に関心を持ってもらうため、小学校の図書委員（現文化委員）に参加してもらっている。講師として参加する小學生が、委員会の時間に加え、放課にも自主的に練習するなど、責任感を持って取り組んでいる。
 おはなし手のひらの会は読み聞かせにとどまらず、手遊びや仕掛け遊びなどで会場が盛り上がり、笑顔で行事を終えることができる。（画像は2019年開催のもの）



親子読み聞かせ

1. 都道府県名	愛知県	3. 公民館対象人口	3819人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN（Wi-Fi等）
2. 市区町村名	田原市	4. 建物設置年月日	平成21年8月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	5台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者（福江校区コミュニティ協議会） <input type="checkbox"/> その他（ ）				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 303人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 24920人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 600人 <input type="checkbox"/> その他（ ）				合計 25,823人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 （職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人） 合計 2人				
10. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他（福江校区コミュニティ協議会総会、校区自治会定例会により評価）				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他（多世代の地域住民が活動・交流できる場づくり）				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述（多目的ホールを有しており、毎日のように利用団体がある。）				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 はつらつ隊、おはなし手のひらの会、長沢自治会、福江自治会、保美自治会、向山自治会、子ども会、福江小学校、福江中学校、田原市				

田原市福江市民館

OPEN 9:00~17:00 H P
 TEL 0531-34-3881 SNS https://www.instagram.com/fukue_shiminkan/





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

子どもたちと地域住民が交流を深める方法のひとつとして、一つの行事を一緒に行う方法を考えた。小学生が講師として参加することで、来場者には子どもたちの活動を見てもらうことができ、一緒に講師を務める方にはアドバイスなどを通して、直接子どもたちと触れ合ってもらうことができた。また、子どもたちの笑顔や元気が地域の活力や明るさに繋がるため、小学生と高齢者グループ（はつらつ隊）に市民館花壇の花植えを依頼したり、保育園児と地域役員の交流イベント（わくわくパーク）なども行ったりしている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

多世代が活動・交流できる公民館を目指して

～みんなが笑顔になる市民館 笑顔で元気なまち福江～

子どもたちの元気が、地域で暮らす人たちの笑顔につながると考え、子どもたちの取組を紹介したり、子どもたちが市民館を訪れる機会を設けたりしている。

【ロビー絵画展（世代間交流）】

5月～9月・11月・12月に行っているちびっこ絵画展では保育園児の作品をロビーに、10月の市民館まつりでは小学生の作品も展示している。1月には小学生の書初め作品（子ども会主催）を展示し、年間を通して子どもたちの活動を市民館で紹介している。

【親子読み聞かせ活動への小学生の参画(地域学校協働活動)(子どもの体験活動)】

読み聞かせボランティアグループ「おはなし手のひらの会」の読み手メンバーとして、小学生が参加している。

【市民館まつりへの子どもの参画（地域学校協働活動）（子どもの体験活動）】

市民館まつりでは、作品出展、器楽演奏、会場準備などで、保育園児、小学生、中学生が関わっている。準備を手伝う中学生の様子は、地域住民にも紹介している。

【小学生と高齢者との花植え会（世代間交流）】

小学生と高齢者との花植え会も行っており、世代間交流の場となっている。



ロビーちびっこ絵画展



中学生による市民館まつり準備

3. 取組による成果や効果

【特徴的な取組による成果・効果】

- ・ロビー絵画展…園児の作品がロビーを明るくし、利用者の会話のきっかけになっている。
- ・親子読み聞かせ…小学生と大人が一緒になって一つのイベントを作り上げている。
- ・市民館まつり…模擬店のほか、市民館講座や地域の方の作品展示、小学校音楽部の演奏会を行っており、多世代交流の場となっている。
- ・小学生と高齢者との花植え会…多世代交流の成果として、美しい景観が作られている。

【これまでの取組全体による成果・効果】

- ・市民館を身近に感じてもらっている。講座等で新たなコミュニティが生まれている。



市民館まつり 作品展示

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

運営審議会はないが、総会を含め年に数回役員・委員と協議をする場がある。その都度行事の開催方法や効果について報告をしたり、検討をしたりしている。また、市民館事務室を開かれた空間にするよう心がけているため、役員・委員に限らず、地域の方が立ち寄り、意見交換を行うことができている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

福江校区コミュニティ協議会は、『笑顔で元気なまち福江』をキャッチフレーズにまちづくりを行っており、その中に福江市市民館も存在している。市民館活動を行う場として発信する側としてだけでなく、様々な団体やクループの活動拠点として利用される施設でもあるため、人の出入りは多い。そのことを生かし、多世代の希望や意見を取り入れた活動を行い、多くの方が楽しんで活動・交流できるように心がけている。



小学生とはつらつ隊による花植え

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

現在Instagramを活用して、市民館の活動や地域の様子を伝えている。

より手軽に市民館の情報を受け取ってもらえる方法があれば、積極的に取り入れていきたい。地域に笑顔と元気を届けられるよう、発信するだけでなく、きめ細かに情報を収集し、生かしていきたい。またInstagramについては、今、福江に住んでいる方に向けたものとしてだけでなく、進学等で地元を離れた子どもたちに故郷を思い出してもらえなものになればと考えている。



夏休み体験教室